

和歌山だよい

令和2年
(2020) 6月号



北山川観光筏下り (北山村)

筏流しは、切り出した木材を筏に組み、川を流して下流の新宮市まで運搬する手段でした。この筏を造る技術と筏を操る技術を受け継いでいるのが北山川観光筏下りです。筏師が造る筏に乗り、大自然の中を人力だけで下るのは、ここ北山村だけです。新型コロナウイルス感染症の影響で、5月から運休となっていましたが、7月1日から運航を開始する予定です。
是非、暑い夏に、川を下るスピードとスリルで「涼」を感じていただければと思います。

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P9
3. お知らせ…………… P10～P13
4. ふるさと歳時記…………… P14



コロナを見る眼

新型コロナウイルスが世界で猛威を振るっており、日本も例外ではもちろんなく、政府が緊急事態宣言を出し、全土に適用されるようになり、解除になるまで、日本国民がこぞって行動の自粛、営業の自粛で、人と人の接触を少なくして、コロナを見事下火にしてみせてくれました。

欧米各国は、日本よりももっと強い強権を発動し、外出の禁止や事業活動の停止をしたのにもかかわらず、感染者が思ったほど減らなかったのと好対照です。しかし、そういう日本も、外出や営業の自粛によって、国民経済は壊滅的な打撃を受けました。和歌山県も、特に観光立県ですから、国外の観光客がほぼゼロになった上に、県外との往来自粛で、大都市以上の打撃を受けています。このままだとコロナは抑えられても、我々の生活が死んでしまうという局面に追い込まれています。

どうしたらいいのでしょうか。その前にどうして日本は、自粛でコロナが激減したのに、欧米は減らないのかと考えてみました。欧米には、日本のような感染者を見つけ出して隔離するという感染症法がなく、それを行う保健所もあまり機能していません。だから、感染が拡大すると対策は、戒厳令みたいな国民の行動制限しかないのです。

日本は違います。和歌山県はもちろんですが、各県の保健当局が必死でがんばっているのです、国民が全面的に自粛で協力するのは、保健当局が失敗して、自らの力を超える感染が広がってしまったときでよいのです。自粛だけが唯一の手段ではないのです。それにこだわりすぎると、経済を破壊し、生活と教育を破壊して、別の所で命さえ失いかねません。

当分の間、コロナはそうはゼロになりません。したがって、コロナがゼロにならないければ教育も県外との往来もすべて許さないという考えはちょっと抑えて、安全な生活、安全な外出に気を付けながら、生活と経済の再建も図りましょう。あとは、コロナとの戦いで設備と装備がより強力になった県の保健行政ががんばります。

和歌山県知事 仁坂吉伸



5/15 南別館記者会見室にて

●中国四川省と覚書を締結しました ～パンダが結ぶ友好関係～



四川省ジャイアントパンダ保護区（世界遺産）の様子

先ごろ、本県は中国四川省と友好関係の発展のための覚書を締結しました。

本県と四川省との関係は、四川省にある成都ジャイアントパンダ繁殖研究基地とアドベンチャーワールドが、かねてから『ジャイアントパンダ長期国際共同繁殖研究』を実施しており繋がりが深いことにより支えられてきました。また、平成20年の中国四川省大震災の際には、和歌山県選出の衆議院議員

である二階自由民主党幹事長が、当時、派遣団の団長となり多くの救援物資を届けられ、その後も友好関係を築いておられます。

そのような経緯から、昨年10月に知事が中国四川省を訪問した際、尹力（いんりき）四川省長から友好都市関係の締結についての打診があり、この度「パンダが結ぶ交流」を促進するべく友好都市関係締結に向けて協力していくことに合意しました。

今回の覚書では、観光、防災・減災、青少年、医療、教育、経済等の各分野で交流及び協力を実施することで合意しています。今後は、この覚書に基づき更に交流を深め、来年1月に友好都市関係を締結する予定です。

なお、中国では友好都市関係を締結する際に、先ず覚書を締結し、一定期間その分野に沿った交流の実績を重ねたうえで、中国人民対外友好協会の許可を受ける必要があるため、このような手続を行うこととなります。

四川省といえば、麻婆豆腐の発祥の地として有名ですが、5つの世界遺産をはじめ、著名な名所、旧跡を有しており、また、中国四川省大地震を経験していることから、観光や防災・減災等、今後の交流に大いに期待が持てます。一方、日本の企業をはじめ、多くの外資系企業が進出する等、経済全体も大変実力があります。

本県ではこれまで、中国山東省と昭和59年に友好都市関係を締結しており、36年にわたる交流を続けているところですが、四川省との「パンダが結ぶ友好関係」も末永くお互いの発展に寄与するものとなるよう1月の友好都市関係締結に向け取り組んでまいります。



『三国志演義』の蜀の国としても有名です

● 10年ぶりに新しい県立自然公園「大塔山県立自然公園」が誕生しました

本県にはたくさんの文化財や史跡、山岳、高原、滝、渓谷、海岸等、素晴らしい風景があります。「自然公園」はこれらの風景地を指定するもので、優れた自然の風景地を未来に残し、そこにいる生物を保全するとともに、これを秩序立てて広く利用してもらおうという趣旨のもと、指定されます。



紀伊半島の特徴的なブナ林が広がる大塔山

5月7日、10年ぶりに誕生した「大塔山県立自然公園」の他にも本県には、高野山町石道玉川峡、龍門山、生石高原、西有田、白崎海岸、煙樹海岸、城ヶ森鉾尖、果無山脈、日置川、白見山和田川峡、古座川の合計12の県立自然公園があります。

大塔山県立自然公園は、紀伊半島南部の中核をなす山岳地帯で、大塔山と法師山を主峰とした大山塊を形成しています。急峻で落差の大きい滝や廊下と呼ばれるY字状の渓谷等、特有の地形が見られ、県内屈指の山地景観を呈しています。また、大塔山を源流とする美しい渓谷や滝が形成され、水と緑が織りなす絶景が広がっています。



この辺りに位置します

本県では、平成22年に和歌山県立自然公園条例を改正して県立自然公園の目的に「生物多様性の確保に寄与すること」を追加し、平成28年には生物多様性和歌山戦略を策定し、豊かな自然環境のもと多種多様な生物が生息・生育する県土づくりを推進しています。

本地域は優れた自然の風景地であり、この自然環境が育む地域固有の生物多様性を守っていくことは大変重要です。また、この自然の大切さを改めて考える機会としても是非多くの皆さんに当地域に訪れていただきたいと考えています。

【大塔山県立自然公園の動植物（抜粋）】

<p>・大塔山山頂のブナ林 本州南限、ブナとアカガシが混交している紀伊半島を特徴づけるブナ林</p>
<p>・県RDB（※）に選定されている絶滅危惧種（植物・動物） トガサワラ、オオバヤドリギ、キイジョウロウホトトギス、ハイノキ 他 ツキノワグマ、ノレンコウモリ、クロホオヒゲコウモリ、クマタカ、ヤマセミ 他</p>
<p>・県指定天然記念物 ナンキセダカコブヤハズカミキリの生息地（大塔山山頂北側） オオダイガハラサンショウウオ（種指定） 他</p>

※RDB・・・レッドデータブック（絶滅の恐れのある野生生物の種の生態等を取りまとめた本）

●皆様の御厚情に心から感謝申し上げます



皆さんからいただいたたくさんの支援物資

へへの医療や看護に奮闘してくれた医療関係者の皆さん、また、感染拡大防止のため自粛に努めていただいた県民の皆さんに、心からお礼を申し上げます。

また、全国でも早期に感染者が発生した和歌山県に、慈しみの温かい手を差し伸べていただいた皆さんに、心から感謝申し上げます。

多くの県内企業・団体の皆さんをはじめ、遠くは沖縄、そして関西・関東・東海地域の企業・団体の皆さん、海外からは中国やタイ、台湾の台東県等、これまで50を超える企業・団体の方々と、多数の個人の方々から温かい支援をいただきました。

この他にも多数の方々から、県内市町村や医療機関等へ直接御支援をいただいています。

皆さんから賜りました貴重な資機材は、県内の医療機関や福祉施設等、必要とする施設において、感染症の予防及び拡大防止に活用させていただいております。本当にありがとうございます。

【御支援いただいた品々】

品物	数量(約)	単位
マスク各種	510,000	枚
防護服、雨合羽等	13,000	着
除菌・消毒剤、アルコール等	2,600	リットル
その他医療資材	ゴム手袋、フェイスシールド、 アクリル板、イオンクラスター 除菌脱臭装置 他	



ありがとうございました

●全国で初めて部落差別をした個人に勧告を行うことができる県条例を制定しました

本県では、これまで様々な施策に取り組んで来たことで、部落差別は解消へと向かっています。しかしながら、今もなお、結婚や不動産の取得等に際して同和地区かどうかを問い合わせる行為や、インターネット上に誹謗(ひぼう)中傷や同和地区を忌避する書き込み等の部落差別が発生しています。

同様の事例は全国的に発生しており、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化

の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じています。

部落差別は国民的な課題であることから、平成28年には、本県選出の国会議員や県議会議員、関係団体の皆さんをはじめ多くの方々の御尽力により、部落差別のない社会を実現することを目的とする「部落差別の解消の推進に関する法律」が議員立法により制定されました。

そのような中、県では令和2年3月、行政、県民、事業者、関係機関等が一体となって部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を築き上げるため「和歌山県部落差別の解消の推進に関する条例」を制定しました。

この条例は、全ての国民に基本的人権の享有を保障する「日本国憲法」、「部落差別の解消の推進に関する法律」、全ての県民の人権が尊重される豊かな社会の実現を図ることを目的とする「和歌山県人権尊重の社会づくり条例」の理念に則り、部落差別の解消を推進するために必要な事項を定めることにより、部落差別のない社会を実現することを目的としています。

県では、国、市町村、事業者、関係機関等と連携を図りながら、部落差別の解消のために、全ての人に部落差別に関する理解と認識を深めてもらえるよう教育や啓発を実施し、部落差別に関する相談に応じるための体制の充実を図ります。



部落差別は許されない行為です！

また、市町村と連携して、部落差別を行った人に対し、部落差別は許されないものであり、今後、部落差別を行わないよう諭します。さらに、これに従わない場合には勧告を行います。企業のみならず個人も含めた勧告を行うことを規定したのは都道府県では本県が初めてです。

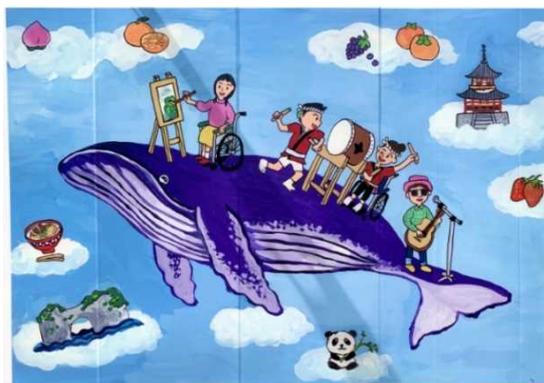
これらの他にも、部落差別の解消に関して、市町村が実施する施策や県民、事業者、関係機関等の取組に対し、必要な情報の提供、助言、その他必要な支援を行います。

一日も早く部落差別が無くなるよう、今後一層取り組んでまいりますので、部落差別のない社会の実現に御協力をお願いいたします。

●PRシートやウェアで大会を盛り上げます ～紀の国わかやま文化祭2021～

本県では、来る令和3年秋、「山青し 海青し 文化は輝く」をキャッチフレーズに、本県初となる「国民文化祭」、「全国障害者芸術・文化祭」を開催します。この愛称を『紀の国わかやま文化祭2021』といいます。

和歌山県・田辺県・新宮県の3県が統合され、現在の「和歌山県」が誕生して150年目の年に開催する本文化祭を盛り上げるため、県内では様々なPR活動が行われています。



作品「和歌山のクジラに乗って、芸術文化を实らそう！」



作品「風そよぐ森」



カラー、刺繍の種類等、公式ウェブサイトをご覧下さい

和歌山市では、現在建設中の新市民会館「和歌山城ホール」の工事現場の囲いに県内の生徒の美術作品をあしらったPRシートを設置しています。PRシートには、紀の国わかやま文化祭2021と同年に開催される「第45回全国高等学校総合文化祭（愛称：紀の国わかやま総文2021）」の大会名、キャッチフレーズ等が描かれ、その両側には、和歌山県立和歌山ろう学校高等部の生徒の作品「和歌山のクジラに乗って、芸術文化を实らそう！」と和歌山市立高等学校の生徒の作品「風そよぐ森」が掲示されています。若者らしい爽やかな作品は、街ゆく人々に芸術を表現する楽しさを伝えてくれています。

一方、県ではこの度、大会啓発ウェアの販売を開始しました。

左胸に文化祭にちなんだ「きいちゃん」の刺繍が入ったポロシャツやウインドブレーカー、フリースジャケットとなっています。

是非、多くの皆さんに、様々な場面で着用いただき、文化祭の認知度を高めていきたいと考えています。

公式ウェブサイトの販売店を掲載しておりますので、是非、お買い求めいただければと思います。



公式ウェブサイト

【販売店一覧】

和歌山市	ミヤモトスポーツ	073-431-0161
	タキモトスポーツ	073-426-3939
海南市	カインスポーツ	073-462-4135
橋本市	赤井スポーツ	0736-33-0605
有田市	ミヨウケンスポーツ	0737-83-2911
御坊市	野田スポーツ	0738-22-2621
田辺市	ツボ井スポーツ	0739-22-0707
新宮市	スポーツギア・アダチ	0735-21-3218
紀の川市	クロダスポーツ	0736-73-3137
那智勝浦町	きいすぽーつ	0735-52-5811
串本町	ケイススポーツ	0735-62-7705



刺繍のイメージ

●就職活動を支援するためW e b説明会を開催しました

本県ではこれまで、大学生等のU I ターン就職の促進のため、県内企業と県出身の大学生等をつなぐ場として、関係者が一堂に会する大規模な合同企業説明会を春と夏に開催してきました。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、春に予定していた対面式の説明会が開催できない状況となりました。

このような中でも、なんとか本県での就職を希望される学生の皆さんの就職活動を支援できればと、5月下旬にW e b機能を活用した合同企業説明会を開催しました。

5月28日の令和3年降卒業予定の学生の皆さんを対象とした合同企業説明会では、W e b会議サービス「Z o o m」を活用し、参加企業30社のP Rをパソコン等で視聴した就職希望者が、選んだ企業にチャット機能を使って質問等を行いました。

W e b説明会であるため、県外に進学した学生の皆さんにも交通費をかけることなく参加いただける機会となり、約350名もの学生の皆さんに参加いただきました。対面式の説明会ではないため、普段は聞きにくい質問等を積極的に投げかける学生の姿も多くみられました。

また、次回は6月21日に開催する予定で、合同企業説明会にあわせ、W e b面接の成功のポイントを講義するW e bセミナーも開催いたします。

(8月にも開催予定です！)

QRコードはこちら →



・ URL : <https://kokucheese.com/event/index/595569/>



全国どちらからでも参加いただける会となりました



検索機能も搭載しています

一方、5月25日から開始している「きのくに人材UターンフェアW e b説明会」では、ウェブサイト「U Iわかやま就職ガイド」内に参加企業(62社)の採用情報とP R動画を掲載し、視聴した方がメール等により企業の採用担当者にコンタクトが取れる場を提供しました。

なお、こちらの採用情報等は8月31日まで視聴いただけますので、和歌山での就職に関心のある方は、是非御覧ください。

・ URL : <https://www.wakayama-uiturn.jp/>

●NPO法人SPORTS PRODUCE 熊野」が自転車活用推進功績者表彰を受賞されました



TOUR de 熊野のスタートの様子

があると認められる個人又は団体を表彰する「自転車活用推進功績者表彰」を受賞されました。

当団体は、平成11年に本県で開催した「JAPAN EXPO 南紀熊野体験博」を契機に「3DAY CYCLE ROAD 熊野」を実行委員会形式で初開催しました。平成17年にはNPO法人を設立し、平成20年から国際自転車競技連合認定レース「TOUR de 熊野」に発展させています。

「TOUR de 熊野」には、国内チームだけでなく海外からのチームも多く参加しており、同団体を中心に地域の企業・自治体を巻き込んだ一大イベントとなっています。また、迫力あるレースを沿道から自由に観戦できることから、地元や県外からも多くの方が応援に駆けつける等、地域経済の活性化に大きく貢献されています。

さらに、国際自転車競技連合公認レースだけでなく、一般サイクリスト向けの自転車レースを開催する等、参加者の裾野を拡げ、地域全体での盛り上げに取り組んでおられます。

「サイクリング王国わかやま」を目指す本県にとって、早くからサイクリングにおける地域活性化、自転車の魅力発信に取り組む当団体の受賞は、大変喜ばしいことです。

今後も自転車を通じた地域の活性化に大いに取り組んでいただきたいと思います。



自転車が和歌山ならではの景色の中を疾走します

●かきの収穫量41年連続で日本一！

先ごろ、近畿農政局から令和元年産の柿の収穫量が発表され、和歌山県が41年連続全国1位に輝きました。また、収穫量43,400tは、全国の21%を占めています。

本県では、平成29年に開発した甘がき新品種「紀州てまり」の早期産地化を進めており、今年の秋には試験出荷を始め、令和5年秋の本格出荷を目指しています。今後も柿産地としての和歌山の名をさらに盤石のものとしてまいります。



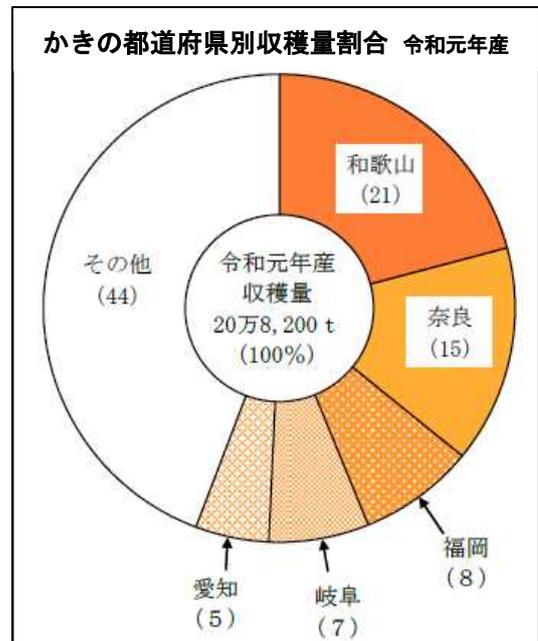
大玉で美味しい新品種「紀州てまり」

「柿が赤くなると医者が青くなる」と言われるほど柿は栄養豊富な果物です。特にビタミンCは柿1個で1日に必要な量をほぼ摂取できるほど豊富に含まれています。また、和歌山では串柿やあんぼ柿等の加工品の製造も盛んです。

秋には県北部を流れる紀の川兩岸の丘陵地帯で、大きく色づいた柿が辺り一面を彩ります。少し先になりますが、是非、秋の風情を味わいに和歌山へお越しください。



プレミアム和歌山認定商品「長寿柿」
(株式会社パーシモン)



●和歌山県産「ぶどう山椒」を使用した新商品が発売中！



おつまみにもピッタリです

昨年御紹介いたしました株式会社オークワの創立60周年を記念した独自商品として、ニッスイ（日本水産株式会社）から発売された『しびれ鍋つゆ』に続いて、本県が収穫量全国第1位を誇るぶどう山椒を使った新商品が5月18日から販売されています。

本県ではかねてから、わかやま産ブランドの向上と県産食材の認知度向上を目的に食品メーカーへの食材提案を行っており、平成28年には、亀田製菓株式会社から、和歌山県産のぶどう山椒を使った『亀田の柿の種 ぶどう山椒』が販売されています。

そして今回、同社の人気商品『技のこだ割りシリーズ』から、和歌山県産「ぶどう山椒」を使用した『技のこだ割り ぶどう山椒味』の販売に至りました。

夏に食べたくなる爽やかな辛み際立つ商品となっており、7月下旬頃までの期間限定販売となっています。全国のコンビニエンスストア等でお買い求めいただけますので、皆さん是非、御賞味ください。

今後も食品メーカーとの協力商品の販売を推進し、和歌山県産品の魅力を発信してまいります。



5～6月に収穫時期を迎えます



「緑のダイヤ」と呼ばれるぶどう山椒の実

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

また、今年度から「新型コロナウイルス感染症対策」、「子供たちの教育環境の充実」、「犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援」の3つを寄附メニューに追加しました。(次頁参照)

御寄附につきましては、郵送や振込みで行うことができますが、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」ではクレジット決済に加え、今年度よりキャッシュレス決済を御利用いただくことができます。申出から決済までを同時に行うことが可能です。ぜひ御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいの方で1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品(プレミアム和歌山)として県が認定した商品の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。

昨年度から返礼品の拡充を行い、寄附金額の価格に応じて返礼品を選んでいただけるようになりました。和歌山県が誇る優良産品(プレミアム和歌山)を是非御堪能ください。

また、返礼品とは別に、2千円以上の御寄附をいただいた御希望の方に「和歌山ファンクラブ」(和歌山県観光連盟所管)への入会権を贈呈しています。御入会いただくと、刊行情報誌「紀州浪漫」の送付など、魅力ある特典がございます。お申込みはふるさとチョイスからお願いします。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載していますので、是非御覧ください。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。



○寄附金控除のしくみ
(例)

寄附金10,000円の場合		
所得税 約800円	住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円
← 控除額合計約8,000円 →		

全額控除される寄附金額の目安

自己負担額2,000円を超える金額が全額控除される寄附金額の目安は下の表のとおりです。

【注意】下の表はあくまでも目安としてお考えください。

単身者の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	28,000円
400万円	42,000円
500万円	61,000円
600万円	77,000円
700万円	108,000円
800万円	129,000円
900万円	151,000円
1,000万円	176,000円
1,500万円	389,000円
2,000万円	564,000円

夫婦、子2人の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	—
400万円	12,000円
500万円	28,000円
600万円	43,000円
700万円	66,000円
800万円	85,000円
900万円	119,000円
1,000万円	144,000円
1,500万円	361,000円
2,000万円	536,000円

「ふるさと和歌山応援寄附」を活用して行う県の取組

お寄せいただいた寄附金を「ふるさと和歌山応援寄附金」として、次の取組に活用させていただきます。

1. 生涯スポーツ・文化の振興

全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。

- ・ワールドマスターズゲームズ2021関西
 - ・国民文化祭
 - ・全国障害者芸術・文化祭
 - ・全国高等学校総合文化祭
- 各大会等の開催に向けた準備をすすめます。



8. わかやまの美しい海づくり

黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとのお海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。

- ・片男波海水浴場
 - ・加太海水浴場
 - ・浜の宮海水浴場
- などの砂浜の整地をすすめます。



2. 南紀熊野ジオパークの推進

令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。

- ・南紀熊野ジオパークセンターの展示の充実をすすめます。



9. わかやまの文化財の保護

和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところ。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。

- ・湯浅の歴史的なまちなみの修理・修景を支援します。
- ・有田市・浄教寺の十六羅漢像の保存修理をすすめます。



3. がん対策の充実

和歌山はがんで亡くられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。

- ・所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。
- ・がん治療前に、精子や卵子等を温存することで、希望を持ってがん治療に取り組むことができるよう支援します。



10. 大切なふるさとの森を守り育てる

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえない森林を守り育て、継承していきます。

- ・和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。



4. 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。

- ・理系の大学生・大学院生を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。



11. わかやまのナショナル・トラスト

和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。

- ・県民の公有財産として未長く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。



5. 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。

- ・これまでの活動で約2,500匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,100匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。



12. 子供たちの教育環境の充実

お礼の品なし

各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。

母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。



6. 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

和歌山の世界遺産をかけがえないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。

- ・参詣道の維持管理・パトロールを行います。
- ・世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。



13. 新型コロナウイルス感染症対策

お礼の品なし

新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。



7. 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。

- ・県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。
- ・県立図書館の蔵書の充実をすすめます。



※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」の
URL・QRコードはこちらです。

URL : <https://www.furusato-tax.jp/city/product/30000>



「ふるさと和歌山応援サイト」のURL・QRコードはこちらです。

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>



**** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては ****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 工藤、宮本

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 宮本

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

自然・風物情報(6月中旬～7月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
6月中旬	仁義びわ 収穫最盛期	海南市下津町	J Aながみね 073-482-6131
6月中旬	南高梅 収穫最盛期	印南町・集荷場	J A紀州みなべいなみ梅 部会 0739-72-1174
6月中旬	新ショウガ 収穫最盛期	和歌山市・ 名草地区、河西地区	J Aわかやま 073-471-3731
6月中旬	「あら川の桃」出荷始まる	紀の川市桃山町	あら川の桃振興協議会 0736-66-1259
6月中旬	あじさい見頃	橋本市・ 恋し野の里あじさい園	橋本市観光案内所 0736-33-3552
		かつらぎ町・花園あじさい園	花園あじさい園 0737-26-0888
		有田市・仁平寺	有田市産業振興課 0737-83-1111
6月中旬	ササユリ見頃	田辺市本宮町	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
		日高川町・ みやまの里森林公園	美山温泉「愛徳荘」 0738-57-0241
6月中旬	舞妃蓮見頃	御坊市・ 舞妃蓮の郷 はす公園	御坊市商工振興課 0738-23-5531
6月下旬	スモモ 収穫最盛期	田辺市新庄町	J A紀南 0739-23-3450
6月下旬	南海高野線に 「風鈴トンネル」登場	高野町・極楽橋駅	南海電鉄極楽橋駅 0736-56-2305
6月下旬	ぶどう山椒 収穫最盛期	有田川町・清水地域 紀美野町	海草振興局農業水産振興 課 073-441-3380
7月上旬	くじらと泳げる海水浴場	太地町・ くじら浜海水浴場	太地町役場 0735-59-2335
7月上旬	大賀ハス開花	上富田町・田中神社	大賀ハス保存会 0739-47-0550
		有田市・箕川	有田市産業振興課 0737-83-1111
7月上旬	ハマユウ見頃	和歌山市・番所庭園	番所庭園 073-444-6533
		白浜町・白良浜	白浜町観光課 0739-43-6588
7月上旬	ハマボウ開花	御坊市・日高川河口南部	御坊市商工振興課 0738-23-5531
		那智勝浦町・ゆかし湯	那智勝浦町観光産業課 0735-52-0555

～編集後記～

梅雨に入り雨の日が多くなってきました。入梅という梅雨入りを表す言葉がありますが、ちょうど日高、西牟婁地方では青梅の収穫が終盤を迎えています。雨が降る中で農家の方々が青梅を拾っている光景を見ますと、まさしく和歌山の梅を連想する言葉だと個人的には思っています。

県内で生産されている梅の品種としては古城（ごじろ）、南高（なんこう）や県うめ研究所（みなべ町）で誕生した新品種のNK14（エヌケー）、橙高（とうこう）のほか、赤みが強い露茜（つゆあかね）、パープルクィーンなどがあります。

梅干しだけでなく、梅酒や梅シロップ（ジュース）をご家庭で作られる方も多いと思いますが、県庁でも青梅と氷砂糖で梅シロップを作り、知事室にお越しになられたお客様にお出ししています。かすかな梅の香りとさわやかな喉ごしは、お客様にとって、梅干しとは違った梅の楽しみ方を提案できていると思います。

去る6月5日、南海和歌山市駅前に和歌山市と南海電鉄が駅周辺の再開発事業として進めてきた大型複合施設「キーノ和歌山」がグランドオープンしました。

和歌山県初となる複合施設で、既にオープンしているオフィス棟、駐車場棟に加え、今回オープンしたスーパーマーケットやレストラン等が入る商業棟、市民図書館のほか、本年7月にはホテルもオープンします。

オープン後は多くの人で賑わっていて、商業棟には、和歌山のローカルグルメを楽しむことができるレストランも多く出店しており、どの店で何を食べようか迷います。

大阪からの玄関口の一つがリニューアルされ、また新たな和歌山の名所ができましたので、皆さんも帰郷される際には、是非一度ご利用ください。

知事室秘書課長 中松 則夫

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等をお願いします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/O10500/furusato/>

2020年（令和2年）6月 No.146

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022